

R元年度宮古島市 観光者向けアンケート

2020年2月6日

一般社団法人 離島未来ラボ



調査概要

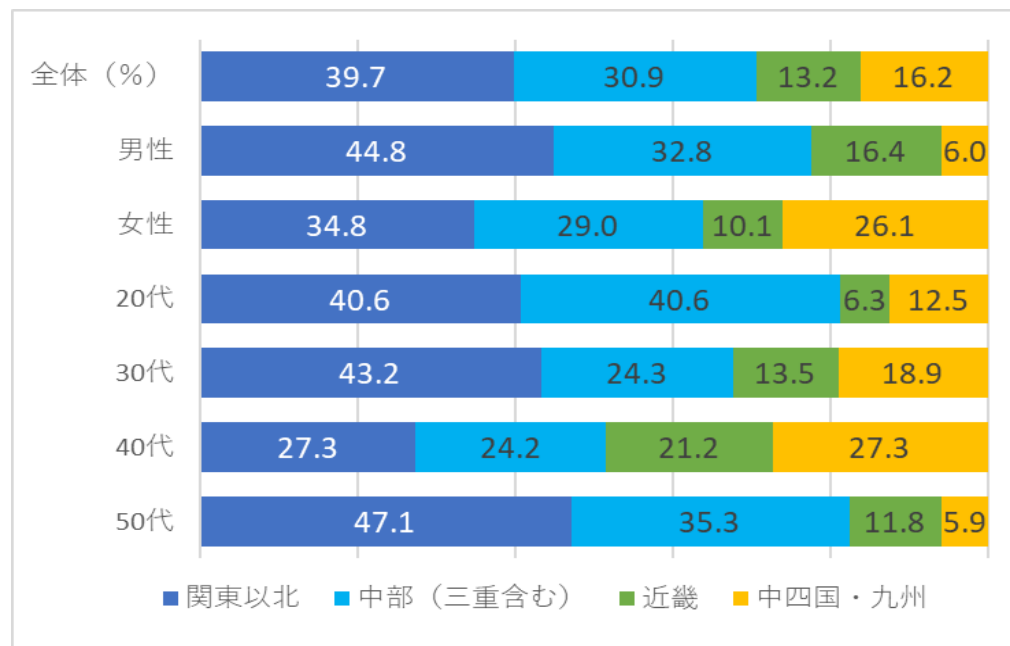
調査目的	宮古島市を観光で訪問した人たちを対象に、宮古島市のエコアイランド推進に関する各種活動の認知・理解度を把握
調査方法	・ 宮古島空港（搭乗待合室）での現地ヒアリング調査 ・ 実査日は2019年11月16日（土）、17日（日）の午後 ・ 謝礼にはW A O Nカード、理想通貨（5M）を用意
有効回答者総数	136件（調査対象は20代～50代の観光で宮古島を訪問した沖縄県外の人）
調査機関	企画：宮古島市役所、一般社団法人未来離島ラボ 実施・分析：一般社団法人未来離島ラボ、日経BPコンサルティング

調査結果要約

- 初回訪問者が約72%とオフシーズンにしては多いという印象であり、宮古島への観光に関心が高いことがうかがえる。
⇒昨年度との違い：初回訪問者は約66%。
- 「エコアイランド宮古島」という言葉の認知度が約36%あり、「千年先の、未来へ。」という言葉の認知度が約21%（5人に1人）だった。
⇒昨年度との違い：「エコアイランド宮古島」の認知度約34%、「千年先の、未来へ。」認知度21%
- エコ活動への実感としては、全体的に約59%と高く、昨年から大幅にアップしている。実際に滞在中にゴミ拾いなどのエコ活動を見かけた人や宿泊先での取り組みにふれるなど、島内でのエコ活動の広がりを感じられる結果となった。
⇒昨年度との違い：エコ活動の実感44%。
- 「持続可能な島づくり」に対しては約95%が共感し、約97%が好感を持っていた。ただけた。
⇒昨年度との違い：ほぼ同様。
- 今年度から「理想通貨」の認知度についての調査も追加したが、知っている以上の回答をした方が6%以上、実際に使用したことがある人が2%おり、島外からの観光客にも関わらず高い認知度を示した。
- 宮古島市へのふるさと納税については、31.6%がこれまで宮古島市にふるさと納税したことがなかったが取り組みを聞いて、ふるさと納税をしたいと思ったと回答。宮古島市の取り組みに対する好意的印象があると言える。
⇒昨年度との違い：33.3%（3人に1人）がこれまで宮古島市にふるさと納税したことがなかったが取り組みを聞いてふるさと納税をしたいと思ったと回答。

調查結果

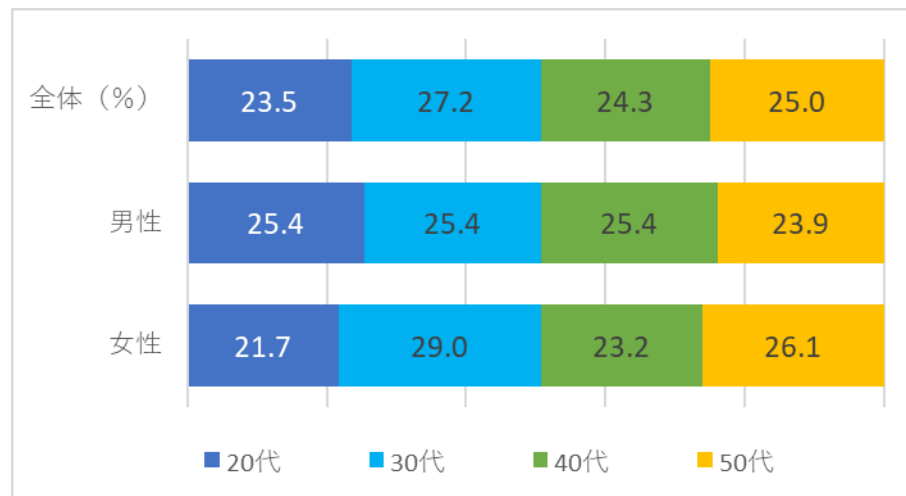
Q 1. あなたはどちらから宮古島に来訪されましたか。



・今回の実査時間は、那覇便だけでなく名古屋、大阪、東京への直行便がある時間に実施した。全体としては関東以北、中部が大半を占めている。なお、関東以北とまとめているが、ほとんどが関東エリアの方の回答となっている。

	全体（%）	男性	女性	20代	30代	40代	50代
関東以北	39.7	44.8	34.8	40.6	43.2	27.3	47.1
中部（三重含む）	30.9	32.8	29.0	40.6	24.3	24.2	35.3
近畿	13.2	16.4	10.1	6.3	13.5	21.2	11.8
中四国・九州	16.2	6.0	26.1	12.5	18.9	27.3	5.9

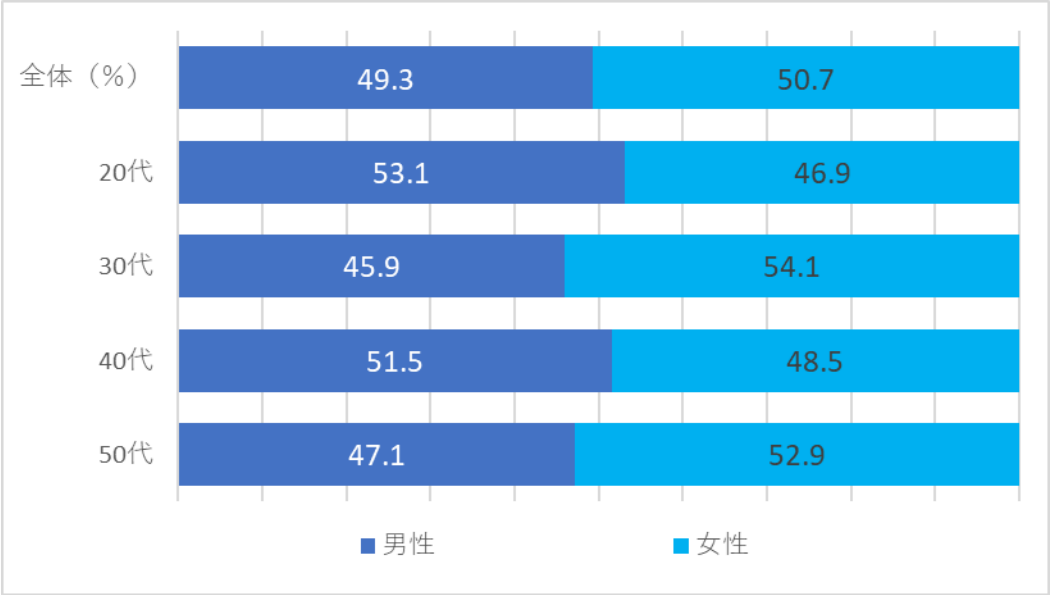
Q 2. あなたの年齢はいくつですか。



・今回は20代、30代、40代、50代から均等にサンプルを確保する設計で実施した。最も少ない世代（20代）でも2割の回収を確保できている（件数では20件以上）。

	全体 (%)	男性	女性
算出母数	136	67	69
20代	23.5	25.4	21.7
30代	27.2	25.4	29.0
40代	24.3	25.4	23.2
50代	25.0	23.9	26.1

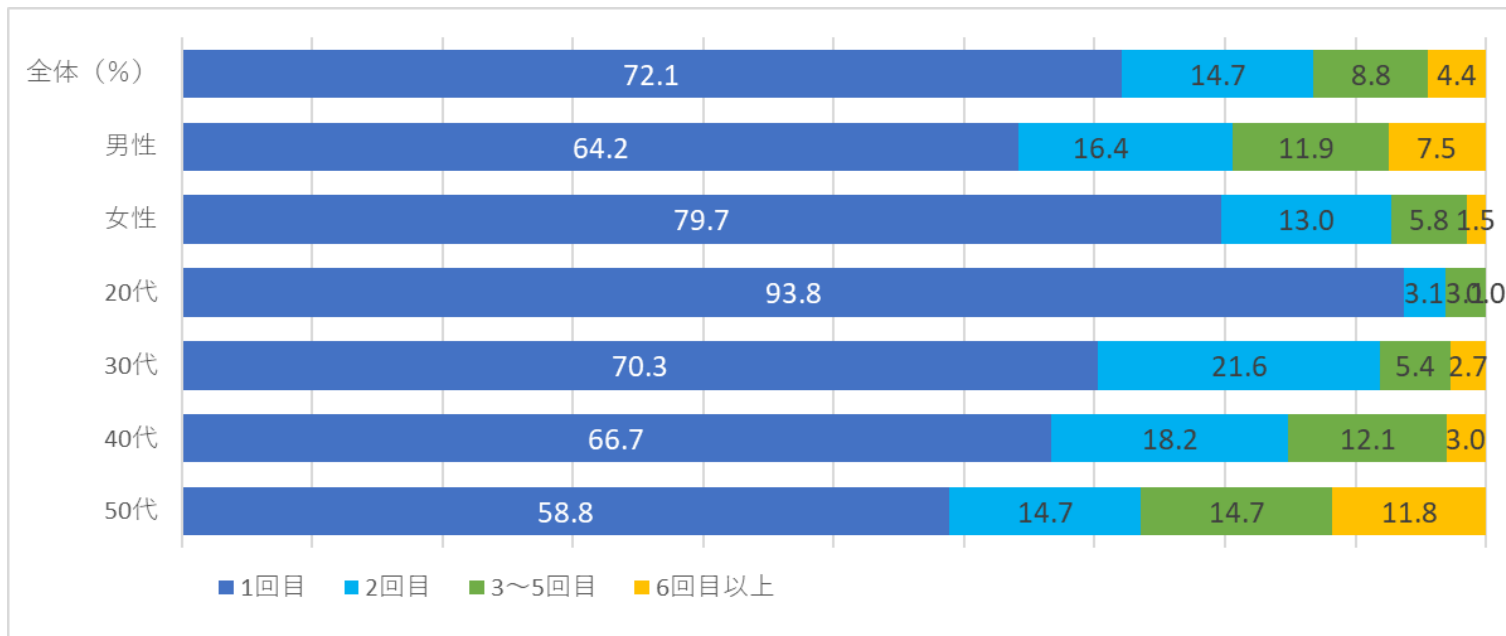
Q 3. あなたの性別をお聞かせください。



・今回、男女のサンプル数はほぼ同数の確保を目指したが、結果として、ほぼ設計通りとなっている。

	全体 (%)	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	32	37	33	34
男性	49.3	53.1	45.9	51.5	47.1
女性	50.7	46.9	54.1	48.5	52.9

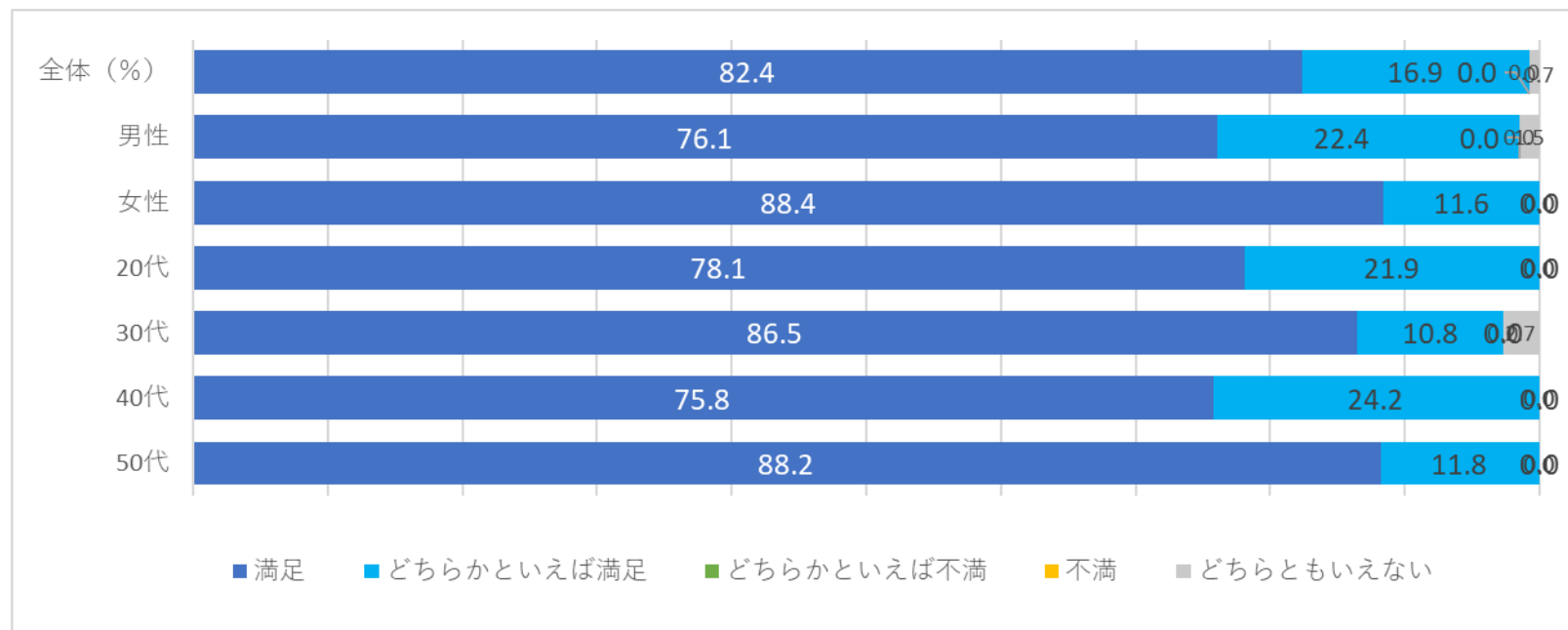
Q 4. あなたが今回、宮古島にいらしたのは何回目ですか。回数をご記入ください。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
1回目	72.1	64.2	79.7	93.8	70.3	66.7	58.8
2回目	14.7	16.4	13.0	3.1	21.6	18.2	14.7
3～5回目	8.8	11.9	5.8	3.1	5.4	12.1	14.7
6回目以上	4.4	7.5	1.5	0.0	2.7	3.0	11.8

・ 今回の対象者の約1/3は2回以上訪問した経験があると回答している。3回以上の方も13.2%となっている。
・ 複数回訪問経験者は男女で比較すると男性の方が多く、年代で比較すると、年齢が上がるにつれ、その比率は高くなる。

Q 5. 今回の宮古島観光の満足度をお聞かせください。

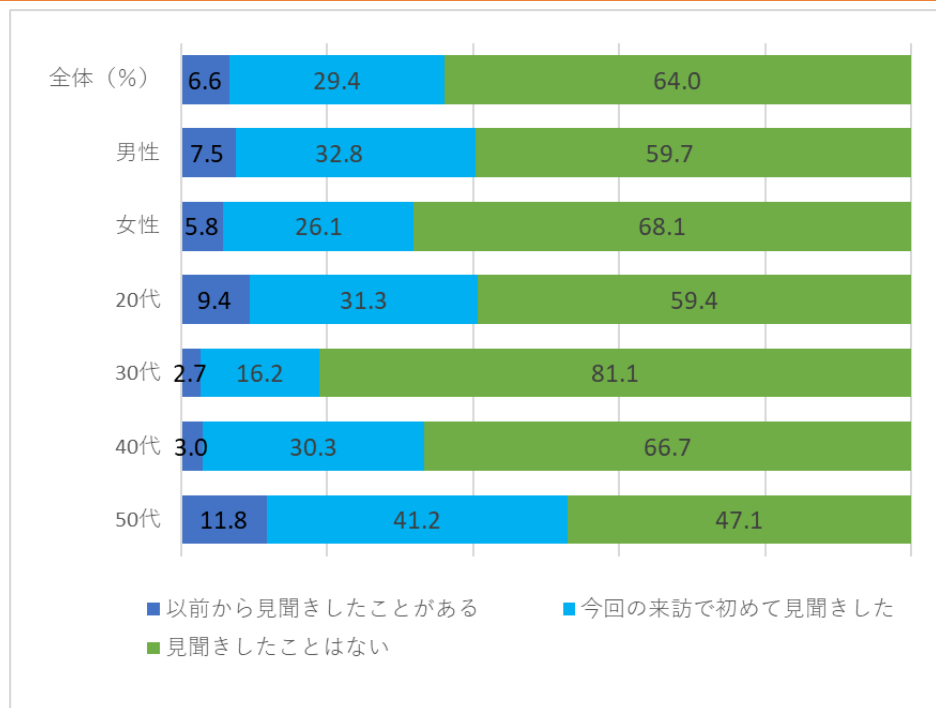


- ・ 全体では99.3%の方が満足（「満足」＋「どちらかといえば満足」）と回答している。
- ・ 満足の回答を性別で比較すると女性の方が高く、年代でみると20代、40代、50代は100%が満足と回答している。

	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
満足	82.4	76.1	88.4	78.1	86.5	75.8	88.2
どちらかといえば満足	16.9	22.4	11.6	21.9	10.8	24.2	11.8
どちらかといえば不満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
不満	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
どちらともいえない	0.7	1.5	0.0	0.0	2.7	0.0	0.0

昨年との違い：満足（「満足」＋「どちらかといえば満足」）と回答した人は84%。年代は20代、30代の若い世代が高い。

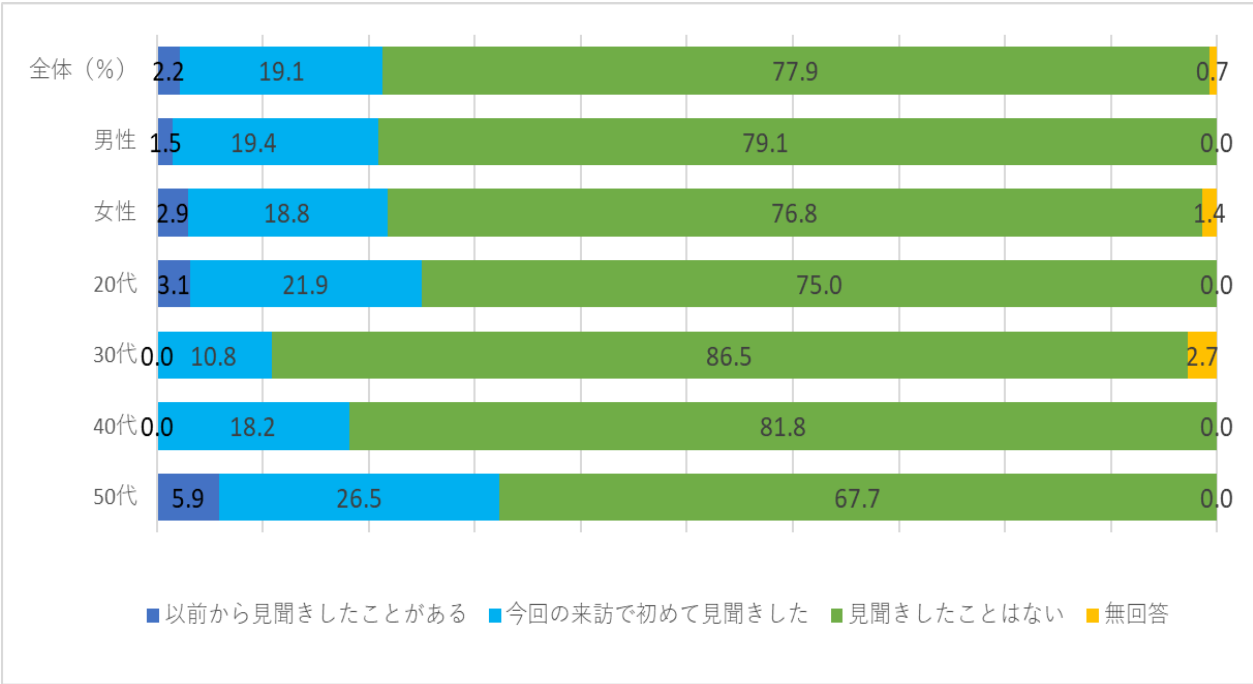
Q 6. あなたは、「エコアイランド宮古島」という言葉を見聞きしたことがありますか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
以前から見聞きしたことがある	6.6	7.5	5.8	9.4	2.7	3.0	11.8
今回の来訪で初めて見聞きした	29.4	32.8	26.1	31.3	16.2	30.3	41.2
見聞きしたことはない	64.0	59.7	68.1	59.4	81.1	66.7	47.1

- ・「以前から見聞きしたことがある」が6.6%、「今回の来訪で初めて見聞きした」が29.4%。最近の「エコアイランド宮古島」啓発活動の結果、約3割の観光訪問者に効果があったとみることもできる。
- ・「今回の来訪で初めて見聞きした」割合を属性別にみると、性別では男性、年代別では50代が高い。
- ・「見聞きしたことはない」に注目すると、性別では女性、年代別では30代が最も高くなっている。

Q 7. あなたは、エコアイランド宮古島の標語である「千年先の、未来へ。」を見聞きしたことがありますか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
以前から見聞きしたことがある	2.2	1.5	2.9	3.1	0.0	0.0	5.9
今回の来訪で初めて見聞きした	19.1	19.4	18.8	21.9	10.8	18.2	26.5
見聞きしたことはない	77.9	79.1	76.8	75.0	86.5	81.8	67.7
無回答	0.7	0.0	1.4	0.0	2.7	0.0	0.0

- ・「今回の来訪で初めて見聞きした」と答えた割合は全体の約19%となっており、今年度の一連の普及啓発活動によって、約2割の観光訪問者にこの標語が到達したことになる。
- ・さらに「以前から見聞きしたことがある」の割合も2.2%となっており、この数値を訪問以前から認知していた割合と解釈すれば、普及啓発活動が島外へ波及していた可能性もうかがえる。
- ・属性別に「今回の来訪で初めて見聞きした」割合に注目すると、性別ではほぼ同じ、年代別では20代、50代の認知率が高い。

Q7-A「千年先の、未来へ。」をご存じの方にお聞きします。どちらで見聞きしたことがありますか。具体的にご記入ください。

回答の内訳は以下の通り。

空港で

ホテル(アラマンダ)

バスガイドが話していた

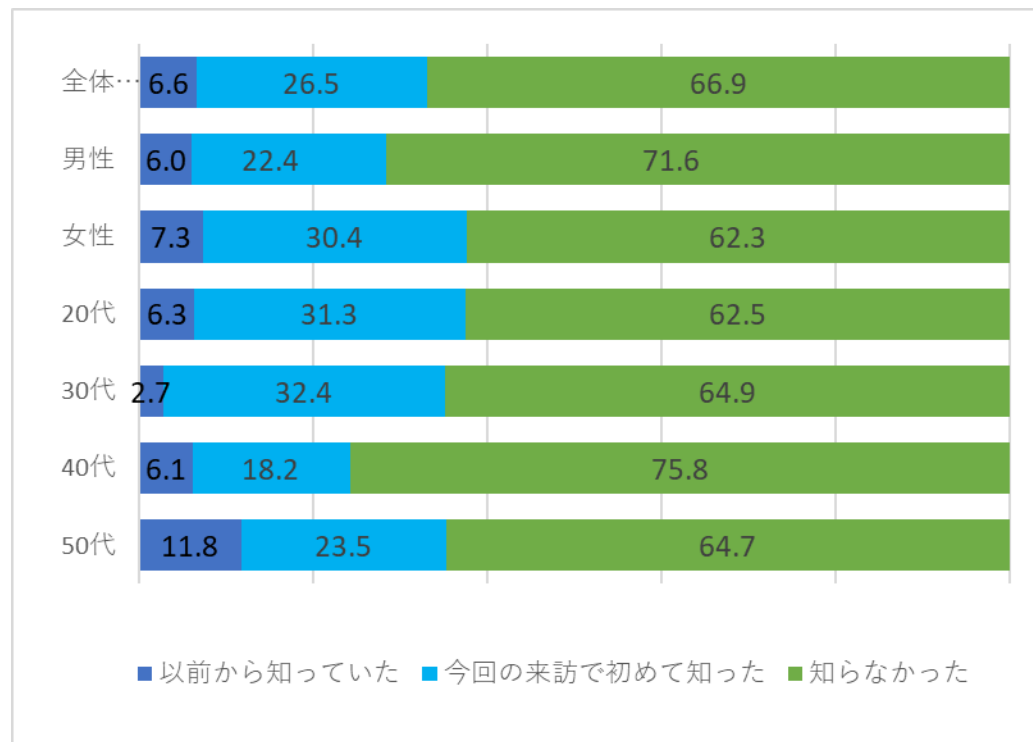
どこかの看板

どこかのポスターに書かれていた。

宿泊先で行われていた活動を通して。(連泊時の清掃を行わない選択ができ、それによって活動へ貢献できるというもの)

どこで、どのように見たのかは覚えていないのですが、「千年先」のインパクトは覚えています。

Q 8. あなたは宮古島がエコ活動に力を入れていることをご存じでしたか。

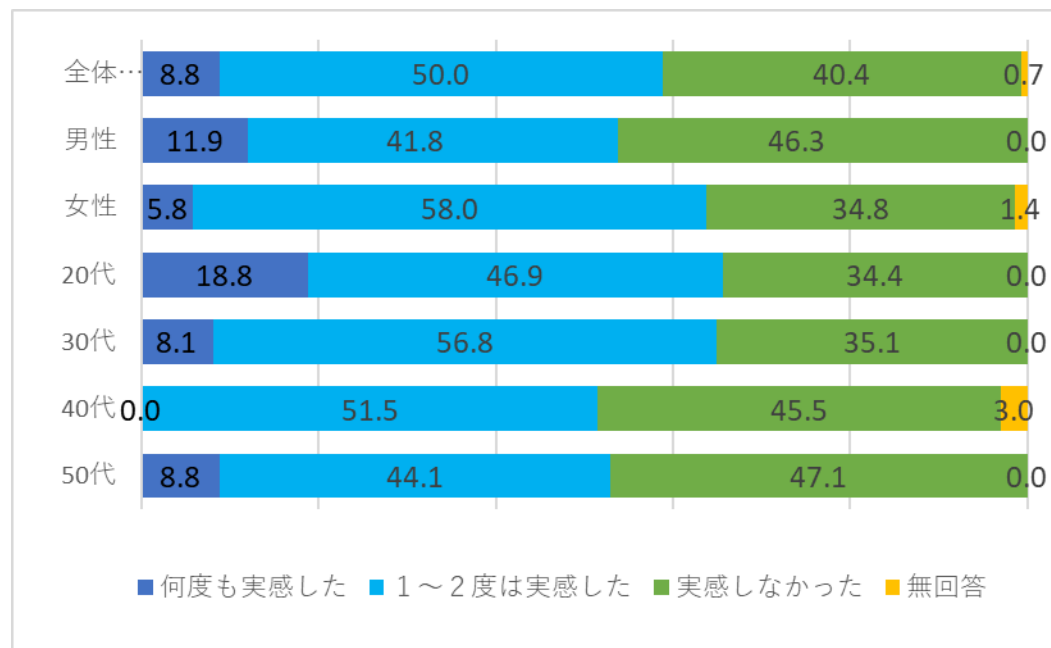


	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
以前から知っていた	6.6	6.0	7.3	6.3	2.7	6.1	11.8
今回の来訪で初めて知った	26.5	22.4	30.4	31.3	32.4	18.2	23.5
知らなかった	66.9	71.6	62.3	62.5	64.9	75.8	64.7

- ・全体では「以前から知っていた」割合は約1割、「今回の来訪で初めて知った」が約2割となっており、宮古島がエコ活動に取り組む姿勢を知ってもらうためには島内での活動をみえる形で観光訪問者にアピールする必要がある。これは昨年とほぼ変わらない結果である。
- ・認知率（「以前から」＋「今回」）を属性別に比較すると、性別では女性、年代別では20代・30代が高い。

昨年との違い：認知率（「以前から」＋「今回」）を属性別に比較すると、性別ではほぼ同じ、年代別では40代が最も高く半数を超えている。

Q 9. 宮古島は、エコアイランド宮古島として、「地下水の保全」、「美しいさんごの海を守る」、「食料やエネルギーの地産地消」、「ごみのない島」、「生物多様性の保全」、「エコ教育」など、「持続可能な島づくり」のために様々な活動を行っています。今回、宮古島に来訪して、このような取り組みを実感することはありましたか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
何度も実感した	8.8	11.9	5.8	18.8	8.1	0.0	8.8
1～2度は実感した	50.0	41.8	58.0	46.9	56.8	51.5	44.1
実感しなかった	40.4	46.3	34.8	34.4	35.1	45.5	47.1
無回答	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	3.0	0.0

- ・全体では、実感した（「何度も」＋「1～2度」）と答えた割合は、合わせて約59%と半数以上に達する。特に1～2度実感した割合は50%と高い。
- ・属性別でみると、性別では女性の方が高く、年代別では20代～30代は6割以上に達している。
- ・次ページに具体的にどのような場面で実感したか自由記述に記入した結果を紹介しているが、ホテルやマリン業者の取り組みや、実際にゴミ拾いをしている人を見かけた、という意見があった。

昨年との違い：実感した（「何度も」＋「1～2度」）と答えた割合は、合わせて約44%、そのうち1～2度実感した割合は37%。

Q9-A.具体的にどのような場面・場所で実感しましたかお書きください。

回答のあった40名の内訳は以下の通り。主に、ビーチ、飲食店、ホテルで実感。

海、ビーチ、スキューバダイビング、インストラクターからの話、ダイビング→美ら海代金を払っている、スノーケリングした際にサンゴや生物を触らないでくださいと生物を大切にしている様子があった

ホテル、ホテルのシーツ交換、トイレットペーパーの使い切り、ホテルのルームクリーニング、ホテルでのエコ活動(タオル交換不要な部屋清掃の場合キャッシュバック)

飲食店のトイレなど、お店に書いてあった、スーパーマーケット、島の駅に行った時、お土産売り場、食事に行った際宮古島の食材で作っていると書いてあった、飲食店のストローが紙だった。

ごみを拾っている人を何人も見た、浜辺でのゴミ拾い、ゴミ拾い体験、観光地でもゴミが少ない、街が綺麗だったから

看板、ポスター等自然の豊かさ、美しさ

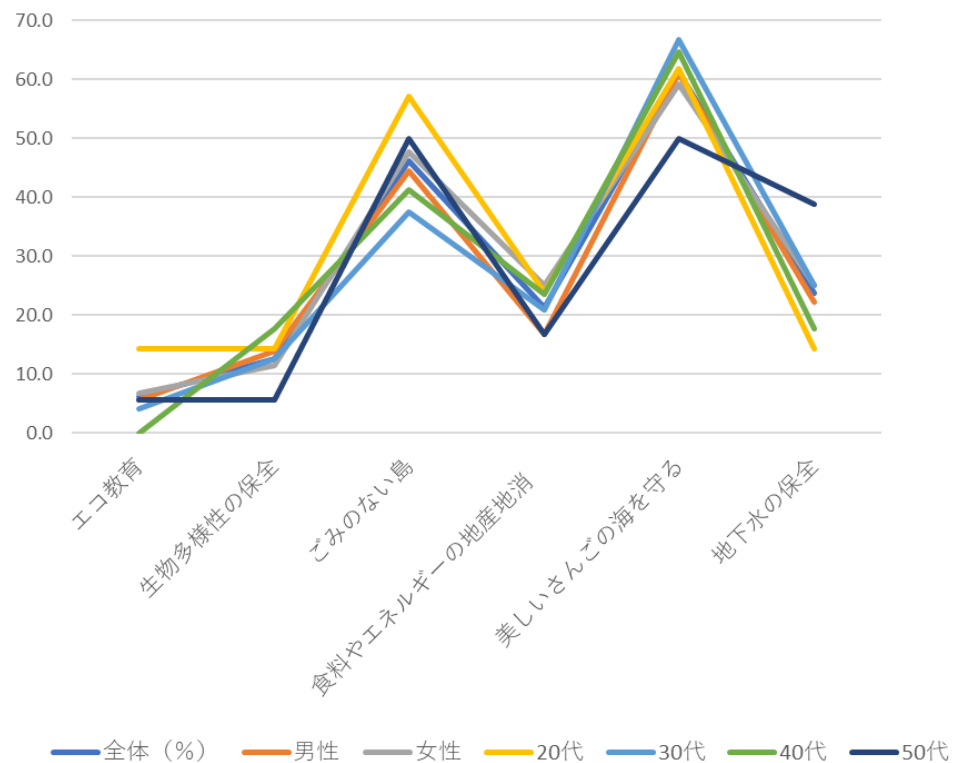
バスガイドさんからの話し、ガイドさんが地下水の利用について教えてくれました

風力発電、太陽光発電、空港の太陽光など

ネットに子育てしやすいと書いてあるのを見た。

地下ダムやその給水所、パンプキン鍾乳洞、ドイツ村周辺、製塩所、雪塩の作り方の説明を聞いた時
ホテル、展望台入り口で来間島憲法の看板を見た！！、農業地域を訪れた時

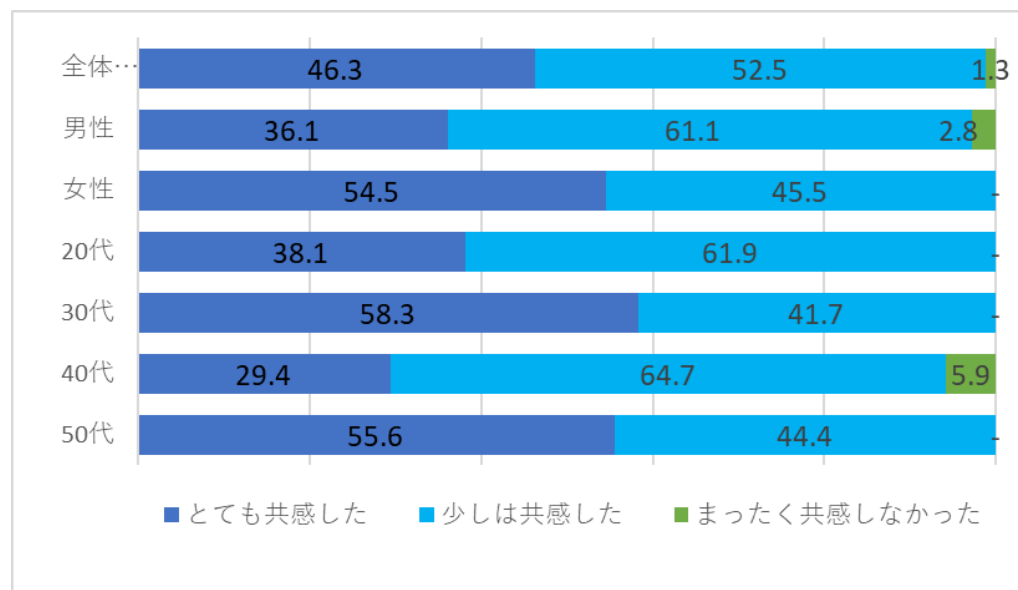
Q9-B.具体的にどの取り組みについて実感しましたか。（複数回答）



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	80	36	44	21	24	17	18
地下水の保全	23.8	22.2	25.0	14.3	25.0	17.6	38.9
美しいさんごの海を守る	61.3	61.1	59.1	61.9	66.7	64.7	50.0
食料やエネルギーの地産地消	21.3	16.7	25.0	23.8	20.8	23.5	16.7
ごみのない島	46.3	44.4	47.7	57.1	37.5	41.2	50.0
生物多様性の保全	12.5	13.9	11.4	14.3	12.5	17.6	5.6
エコ教育	6.3	5.6	6.8	14.3	4.2	0.0	5.6

- ・ Q 9 で宮古島の取り組みに「実感した」と回答した方に具体的な取り組みを尋ねたところ、「美しいさんごの海を守る」と「ごみのない島」は実感が得やすいとみられる。
- ・ 反対に、エコ教育の割合は低く、一時的な滞在では伝わりにくいようである。

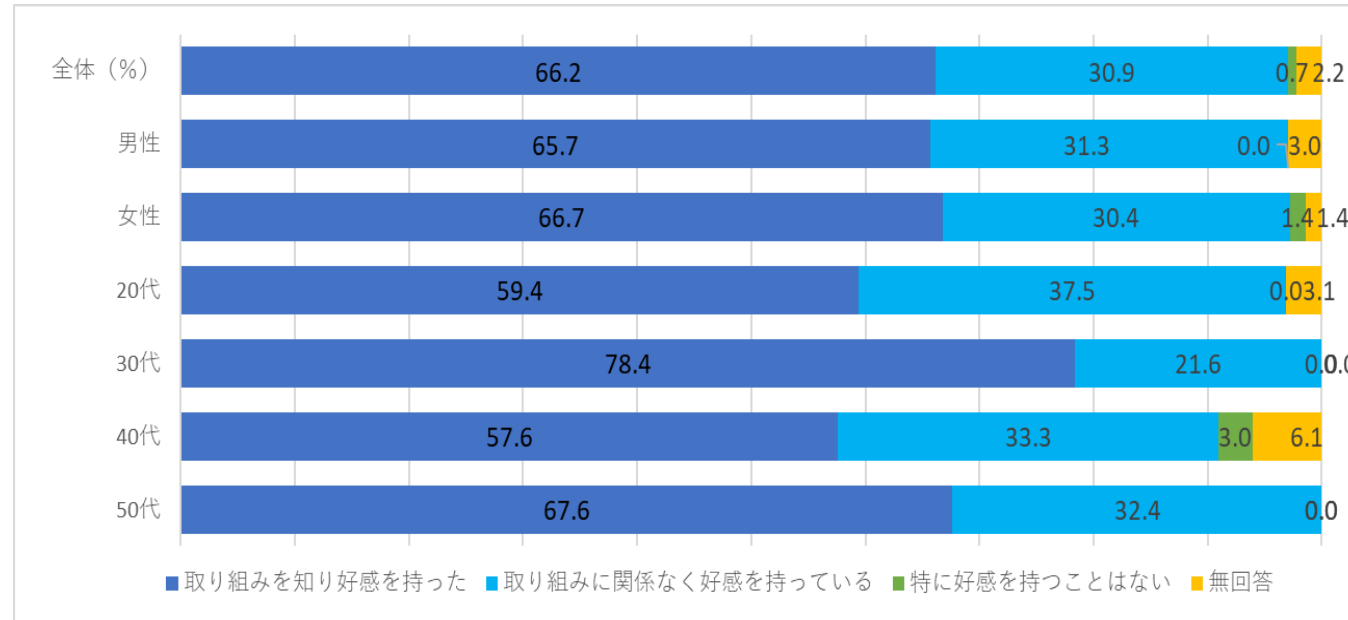
Q9-C.今回の来訪を通じて、宮古島の「持続可能な島づくり」の取り組みに共感しましたか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	80	36	44	21	24	17	18
とても共感した	46.3	36.1	54.5	38.1	58.3	29.4	55.6
少しは共感した	52.5	61.1	45.5	61.9	41.7	64.7	44.4
まったく共感しなかった	1.3	2.8	-	-	-	5.9	-

- ・ Q 9 で宮古島の取り組みに「実感した」と回答した方に、取り組みに対して共感したか尋ねたところ、全体では、「とても共感した」と「少しは共感した」を合わせるとほぼ約99%の訪問者が共感したと回答している。
- ・ 属性別に「とても共感した」割合に注目すると、性別では女性の割合が、年代別では30代の割合が高い。

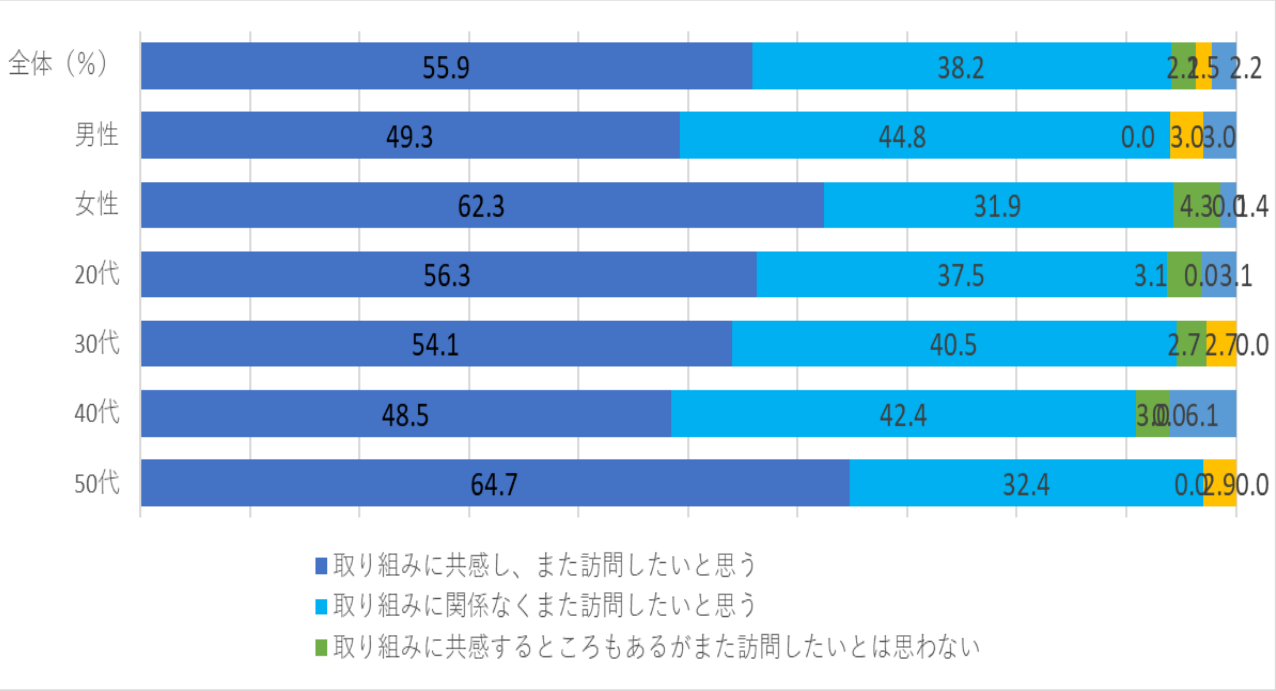
Q 1 0. あなたは、先ほど説明したような「持続可能な島づくり」に向けた6つの取り組みについて知って、宮古島のことをどのようにお感じになりましたか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
取り組みを知り好感を持った	66.2	65.7	66.7	59.4	78.4	57.6	67.6
取り組みに関係なく好感を持っている	30.9	31.3	30.4	37.5	21.6	33.3	32.4
特に好感を持つことはない	0.7	0.0	1.4	0.0	0.0	3.0	0.0
無回答	2.2	3.0	1.4	3.1	0.0	6.1	0.0

- ・ 宮古島の持続可能な島づくりの「取り組みを知り好感を持った」割合は全体の2/3を占めており、エコアイランド宮古島の一連の活動が多く観光客に対してプラスの印象を与える結果となっていることがうかがえる。
- ・ 属性別に「取り組みに関係なく好感を持っている」割合を見ると、性別ではほぼ同じ、年代別では20代の割合が高い。

Q 1 1. あなたは、先ほど説明したような「持続可能な島づくり」に向けた 6 つの取り組みを知ったことによって、また宮古島を訪問したいと思いますか。

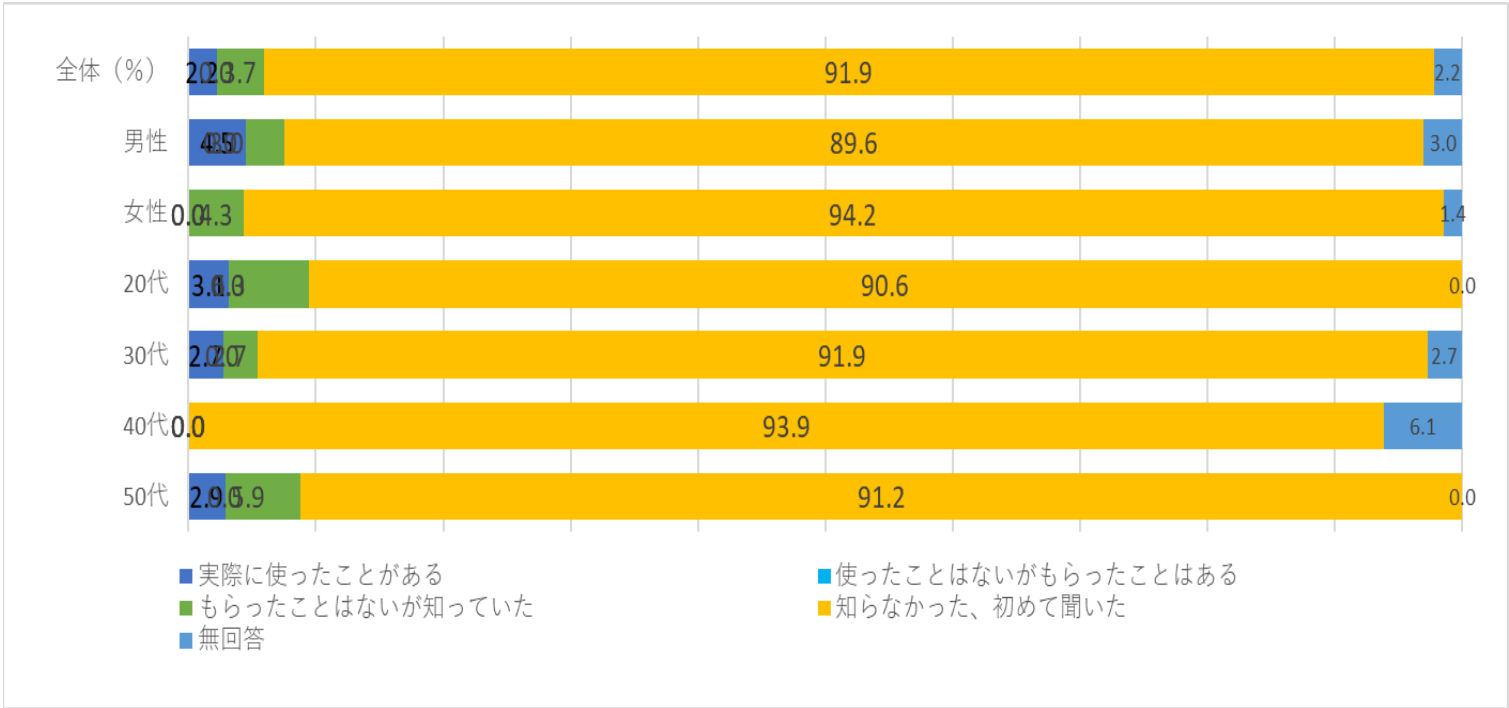


	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
取り組みに共感し、また訪問したいと思う	55.9	49.3	62.3	56.3	54.1	48.5	64.7
取り組みに関係なくまた訪問したいと思う	38.2	44.8	31.9	37.5	40.5	42.4	32.4
取り組みに共感するところもあるがまた訪問したいとは思わない	2.2	0.0	4.3	3.1	2.7	3.0	0.0
取り組みに関係なくまた訪問したいとは思わない	1.5	3.0	0.0	0.0	2.7	0.0	2.9
無回答	2.2	3.0	1.4	3.1	0.0	6.1	0.0

- ・ 全体では55.9%が「取り組みに共感し、また訪問したいと思う」と回答し、「取り組みに関係なくまた訪問したいと思う」の割合を上回る。エコアイランド宮古島の取り組みが観光客に好感・共感を与え、結果として、リピーター率向上にも効果を与えていることがうかがえる。
- ・ 「取り組みに共感し、また訪問したいと思う」割合を属性別でみると、性別では女性が高く、年代別では、50代が6割を超えている。

昨年との違い：全体では50%が「取り組みに共感し、また訪問したいと思う」と回答。

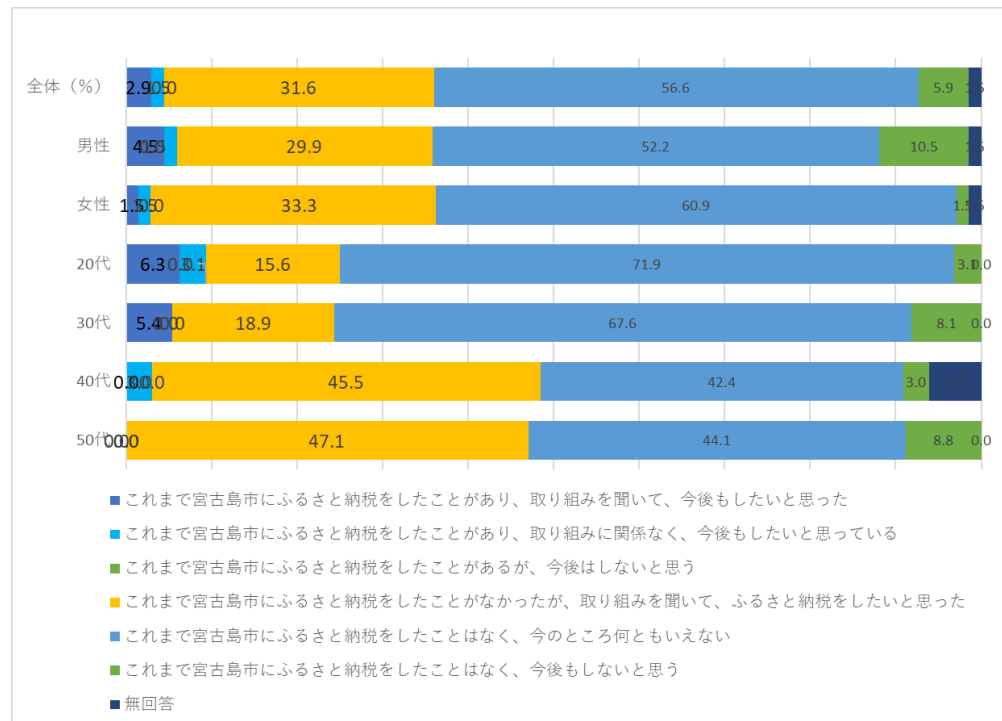
Q 1 2. あなたは、エコ活動を支援することなどで得られる宮古島独自の「理想通貨」をご存じでしたか。(SA)



- ・全体で約90%の人が「知らなかった、初めて聞いた」と回答する中、知っている以上の回答の人が約6%、実際に使ったことがある人が約2%いた。
- ・上記について属性別にみると、年代別では20代が使ったことがある割合が高く、50代が知っている割合が高かった。

	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
実際に使ったことがある	2.2	4.5	0.0	3.1	2.7	0.0	2.9
使ったことはないがもらったことはある	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
もらったことはないが知っていた	3.7	3.0	4.3	6.3	2.7	0.0	5.9
知らなかった、初めて聞いた	91.9	89.6	94.2	90.6	91.9	93.9	91.2
無回答	2.2	3.0	1.4	0.0	2.7	6.1	0.0

Q 1 3. 宮古島市ではふるさと納税の寄付先のひとつとして、「エコアイランド宮古島」づくりに向けた活動を応援するコースを用意しています。先ほど説明したような「持続可能な島づくり」の取り組みを聞いて、今後、ふるさと納税への協力をしてみたいと思いましたか。



	全体 (%)	男性	女性	20代	30代	40代	50代
算出母数	136	67	69	32	37	33	34
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことがあり、取り組みを聞いて、今後もしたいと思った	2.9	4.5	1.5	6.3	5.4	0.0	0.0
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことがあり、取り組みに関係なく、今後もしないと思っている	1.5	1.5	1.5	3.1	0.0	3.0	0.0
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことがあるが、今後はしないと思う	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことがなかったが、取り組みを聞いて、ふるさと納税をしたいと思った	31.6	29.9	33.3	15.6	18.9	45.5	47.1
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことはなく、今のところ何ともいえない	56.6	52.2	60.9	71.9	67.6	42.4	44.1
これまで宮古島市にふるさと納税をしたことはなく、今後もしないと思う	5.9	10.5	1.5	3.1	8.1	3.0	8.8
無回答	1.5	1.5	1.5	0.0	0.0	6.1	0.0

・全体の31.6%が「これまで宮古島市にふるさと納税したことがなかったが取り組みを聞いて、ふるさと納税をしたいと思った」と回答。

すでに宮古島市にふるさと納税をしている4.4%に比べてかなり高い割合となっており、エコアイランド宮古島の取り組みが市の財政にも貢献する可能性が読み取れる。

・上記について属性別にみると、性別ではほぼ同じ割合、年代別にみると50代の割合が最も高い。

EOF

